CRスラブ2型

Rブロック リサイクルコンクリー製品

CRスラブとは
老朽化した現場打ち側溝の下部はそのままに
側溝上部のみを新しくする（**C**ut＆**R**emake）スラブです。



着工前



完成

建設後年月がたち老朽化し、風化や破損により傷みの激しい側溝が街中で多く見られるようになってきた。

今は工場で作られたコンクリート製品で水路を作るのが一般的であるが、当時は型枠で水路を形成しコンクリートを打設して構築する現場打ち工法が採用されていた。

このような側溝を補修する方法として、痛んだ蓋だけを交換したり、コンクリートで完全に覆ってしまう工法で対応がなされている。

側溝を新しく作り直すには多額の費用が必要であり、住民の日常生活にも影響がある。

CRスラブ2型を使用する工法は、既設の側溝の下部はそのままに上部のみの工事となるため費用も最小限に抑え、工期も短縮されるため時代にマッチしたものと言える。

CRスラブ2型による側溝補修方法



1
着工前、車が側溝の上を通過するたびにガタガタと騒音が発生し、歩行者がつまづいたりと危険な場所である。



2
既設の現場打ち側溝の下部はそのままに、上部をカッターやハツリによりカット除去する。



3
カット除去した現場打ち側溝の上部にCRスラブ2型を据え付ける。



4
既設側溝と製品の間をアジャスターボルトで調整して水平を出す。この時既設側溝と製品の間には約2cmの隙間が出来る。



5
既設側溝と製品の間に出来た隙間にパッキンを貼った型枠をセットする。



6
製品の蓋掛部に設けられたモルタル注入孔より練混ぜた無収縮モルタルを流し込む。

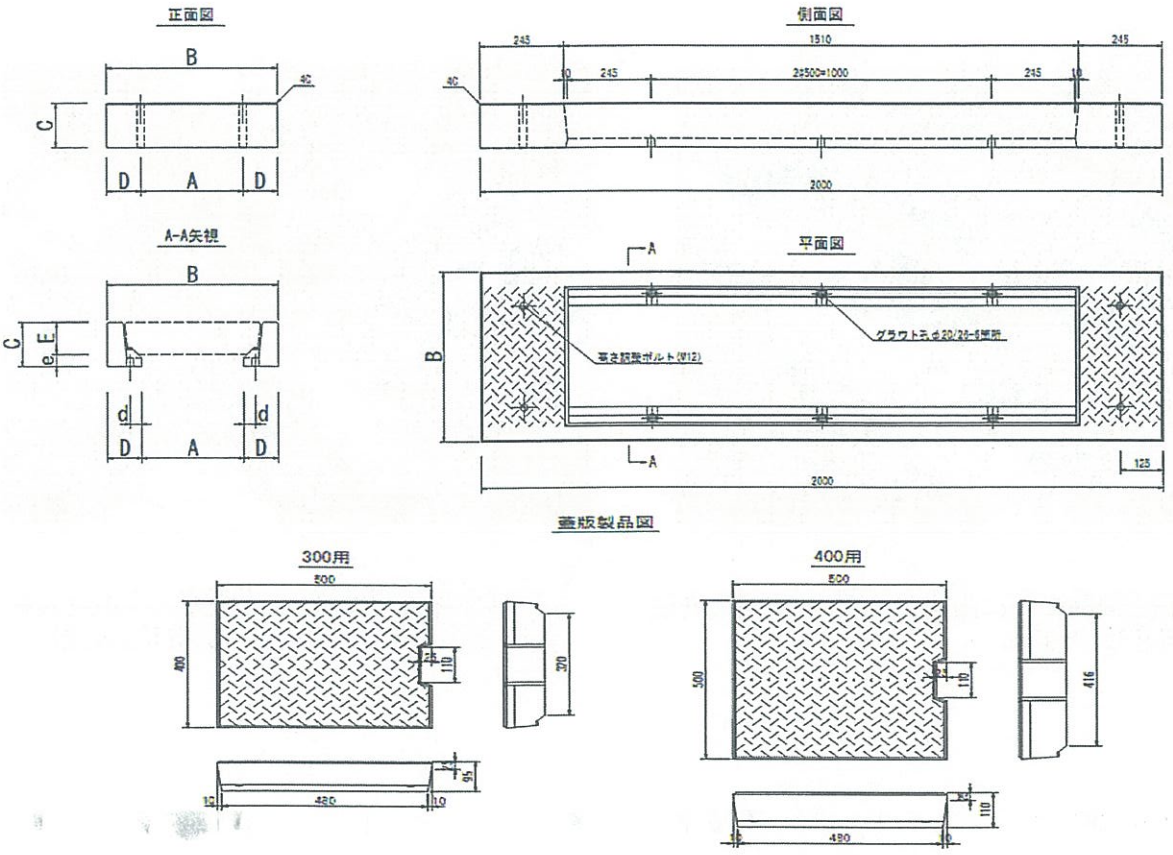


7
モルタル注入孔に流し込んだ無収縮モルタルが盛り上がってくれば、注入は完了である。



8
無収縮モルタル注入後約1日養生し、型枠を撤去し蓋を掛ければ側溝の補修は終了する。

CRスラブ2型300用製品図（無騒音型）



標準布設歩掛

CRスラブ2型　B300用　10m当たり	土木一般世話役（人）	特殊作業員（人）	普通作業員（人）	トラッククレーン（賃料）（日）
既設現場打ち側溝上部撤去	1.2	1.2	2.4	
CRスラブ2型据付　（215kg）	0.4	0.4	0.8	0.4
モルタル留め型枠取付・撤去	0.2		0.4	
無収縮モルタル注入	0.1		0.2	
蓋設置（15枚）	0.1		0.2	

各種サイズに対応します、まずはご相談下さい。

発売元

株式会社　ニッコン

本　　社　〒683-0846　米子市安倍200番地1（平成ビル）
建材事業部　電話(0859)29-5511(代表)　FAX(0859)29-4411
倉吉営業所　〒682-0802　倉吉市東巌城町181番地
電話(0858)22-4611(代表)　FAX(0858)22-4693

製造

鳥取県コンクリート製品協同組合　会員
株式会社　ホクコン
和光産業株式会社